

医会ニュース

●発行人 吉田英機 ●編集 細部高英
●発行所 〒140-0004 品川区南品川3-6-51 小川クリニック内
東京泌尿器科医会 TEL 03-5460-1188 FAX 03-5460-1195

主な記事

- 第40回東京泌尿器科医会学術集会（20周年記念大会）開催 1
東京泌尿器科医会学術集会20周年記念大会情報交換会の報告 2
東京都各科医会協議会報告 7 / 日本臨床泌尿器科医会だより / 編集後記 8

第40回東京泌尿器科医会学術集会 （20周年記念大会）開催

平成27年3月7日（土）に京王プラザホテルにて第40回東京泌尿器科医会学術集会・20周年記念大会が開催された。会場には121名（招待・演者13名、会員87名、一般参加21名）が参加し、長谷川潤副会長の総合司会で始まった。



まず吉田英機会長から挨拶があった。続いて講演1として、長倉和彦副会長の座長で東京泌尿器科医会初代会長の町田豊平先生から「東京泌尿器科医会の歩み」と題してご講演頂いた。設立当時のお話や泌尿器科学発展の歴史・さらに今まで臨床の現場で日本のトップとして活躍された当会会員のお話を交えて解説頂いた。次に講演2として、巴ひかる理事の座長で福井大学医学部付属病院副院長横山修先生から「Female LUTS、最近の話題」と題してご講演を

頂いた。最近の様々な新薬の登場や新しい理論の展開などで飛躍的に進歩した治療について解説して頂いた。最後に吉田英機会長の座長で、講演3として国際医療福祉大学大学院教授渡辺俊介先生から「今後の医療情勢について」と題してご講演を頂いた。先生は元日本経済新聞論説委員で政界・官界に精通されており、今後日本の医療が何を目指しているのかを解りやすく解説して頂いた。我々の日常診療にも深く影響のある内容で、大変興味深く拝聴した。



東京泌尿器科医会学術集会 20周年記念大会情報交換会の報告

さて大盛況であった学術講演会の後、南館から本館「花」に場所を移動し、情報交換の場が華やかな会場でもたれた。

40回記念大会という事で吉田英機会長の開会の辞の後には来賓の先生方からお祝いと励ましのお言葉を頂いた。

東京都医師会会長 野中博先生、日本臨床泌尿器科医会副会長 清原久和先生、東京眼科医会会長 濱崎陸(すすむ)先生、東京都医師会副会長 近藤太郎先生にはご多忙中にも関わらずご出席賜り心より感謝申し上げたい。

続いてご講演頂いた初代会長の町田豊平先生の乾杯のご発声とともに終始和やかなムードの中、百数十名の仲間たちとの楽しいひと時を過ごされた先生方も多かったのではないのでしょうか？お酒もほど良く回ってきた頃には定刻を超え、長倉和彦副会長の閉会の辞をもって終了し

た。

最後になりますが限られた時間の中で名司会進行をして下さった小川肇先生にも会員一同御礼申し上げたい。

入会のお誘い

東京泌尿器科医会では只今新規入会のお誘いを行っています。

都内で開業ないし勤務する泌尿器科関連医師の方で、入会を希望される方は下記にお申込み下さい。

〒140-0004 品川区南品川3-6-51
小川クリニック 小川 肇
TEL. (03) 5460-1188 FAX (03) 5460-1195

第41回 東京泌尿器科医会学術集会・総会のお知らせ

日 時：平成27年9月5日(土) 17:30~19:45

場 所：京王プラザホテル本館42階「富士」の間

講演1. 「BPH/LUTSに対する併用療法を含めた薬物治療戦略」

東京慈恵会医科大学泌尿器科講師 古田 昭 先生

講演2. 「保険診療のQ&A」

日本大学医学部付属板橋病院 山口 健哉 先生

講演3. 「去勢抵抗性前立腺がん新時代のマネジメント」

東邦大学医療センター佐倉病院泌尿器科 鈴木 啓悦 先生

(平成26年度総会を当日に開催いたします)

講演 1

東京泌尿器科医会の歩み

東京泌尿器科医会初代会長
町田豊平先生

東京泌尿器科医会は1995年（平成7年）9月、京王プラザホテルで誕生し、私は初代会長となり、今日はその20周年記念講演として皆様の前でご挨拶することになりました。



この東京泌尿器科医会の出発点は、泌尿器科臨床医に社会的地位を高めようということから始まっております。日本泌尿器科学会で私の仲間たちと「泌尿器科医療をもっと元気にしよう、そして学会をしっかりとさせよう」という話し合いの場が作られました。その中で米国帰りの仲間からは泌尿器科学会の近代化を望む意見が出る一方、泌尿器科医がもっと勉強すべきであり、臨床現場で頑張る泌尿器科医が力を発揮できる組織がないとだめであろうということになり、泌尿器科医による泌尿器科医のための組織を作ろうと、私はその初代会長になった次第です。

当時私は大学を定年退職したばかりで、すでに東京都には6つの診療科の医会があり、こういう活動が本来の医会のあり方と考えました。そこで東京都医師会で活躍されている泌尿器科開業医を中心に泌尿器科に興味のある他科の医

師をも集めて東京泌尿器科医会は発足したのです。私はその東京都医師会で活躍されている医師達の努力が素晴らしいものであると感心しながら、20年間医会と歩み続けてきました。各医会の方たちとの付き合いで東京都医師会との関係も構築されました。日本の医療制度は医師会中心で動き、保険制度や保険請求のポイントを毎回講演会で取り上げ、泌尿器科トピックスとともに医会学術集会で勉強してきました。

また、泌尿器科医療はここ数年でさらに拡大しており、振り返ると尿路結石症は開腹手術から内視鏡手術、ESWLへ、前立腺手術も開腹手術から内視鏡手術へと進歩し、当医会の第2代会長の故長久保先生はダビンチをいち早く日本で取り入れたチームを率いた先駆者です。一方、内科的研究でED治療薬のバイアグラが発売されたのも進歩の一つと考えます。

これらの進歩には泌尿器科医の絶え間ない研究や努力があり、国民の健康に貢献しています。そして泌尿器科医が自信を持って臨床に取り組んでいくこと、その成果を世の中に出して行くことが医会を発展させることだと考えております。

これからも皆で泌尿器科医療の質を高めるために頑張ってください。

本日は東京泌尿器科医会20周年の会に沢山の方にご参加いただき誠に有難うございました。これからも宜しくお願いいたします。

最後になりますが、当会第2代会長の故長久保一朗先生の皆様へのメッセージとして、医会会員の皆様は必ず年一度の健康診断を受けて健康に過ごされるようにとお伝えしたいと思います。

 **astellas**



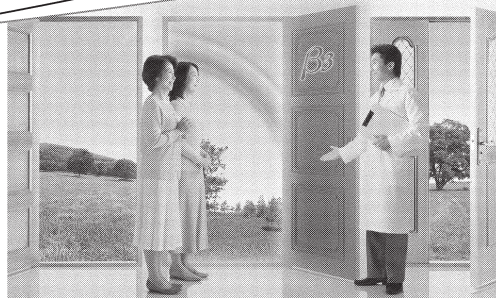
選択的β₂アドレナリン受容体作動性過活動膀胱治療剤 薬価基準収載
(ミラベグロン錠)

ベタニス[®]錠 25mg
50mg

創薬、処方箋医薬品
(注意—医師等の処方箋により使用すること)

Betanis[®]

■「効能・効果」「用法・用量」「警告・禁忌を含む使用上の注意」等につきましては、製品添付文書をご参照ください。



製造販売 **アステラス製薬株式会社**

東京都中央区日本橋本町2-5-1

【資料請求先】メディカルインフォメーションセンター ☎0120-189-371

講演 2

Female LUTS、最近の話題

福井大学医学部附属病院副院長
泌尿器科学講座教授

横山 修 先生

現在、高血圧 3,500 万人、糖尿病 1,600 万人、肥満 2,100 万人と言われ、メタボリック症候群を含めた生活習慣病の予防と対策は大きな課題となっている。生活習慣病と LUTS の相関をみる目的で、一般医家に慢性疾患で通院する患者（平均年齢 76.7 ± 7.3 歳）60,034 名の処方データを入手し、独自に解析して生活習慣病と LUTS 治療率、睡眠障害についての解析を行った。生活習慣病ありの症例はなしの症例に比べ明らかに LUTS 発生率（治療率）が高く、そのリスク因子は男性では脂質異常、高血圧、糖尿病が、女性では高血圧であった。睡眠障害も生活習慣病ありの患者で有意に多かった。生活習慣病を背景に LUTS と睡眠障害が発生し、加齢のみでは LUTS は発生しない可能性があると思われる。

女性の LUTS は生活習慣病とともに発症することが多く、したがって生活習慣病の治療を行っている内科医の手に委ねられることも多い。特に 75 歳以上の女性 LUTS 患者の半数以上は内科医師が治療しているという¹⁾。また、2014 年 2 月の抗コリン薬・ β_3 アゴニスト処方箋データベースからの解析によれば過活動膀胱患者の半数以上が 75 歳以上であり、推定健康年齢（女性 73.6 歳）を越えた患者を治療することになる。したがって口内乾燥や便秘といった合併症をもともと持っている患者も多い。過活



動膀胱患者では一般人に比べ口内乾燥の頻度が高いという報告²⁾や、糖尿病患者、特に血糖コントロールの悪い患者では便秘の有症率が高いとされている³⁾。さらに生活習慣病治療薬が便秘を引き起こす可能性もある⁴⁾ため、これらの患者に対し抗コリン薬を用いて治療する場合は薬剤の選択に慎重でなければならない。過活動膀胱診療ガイドラインが 10 年ぶりに改訂され⁵⁾、近日（2015 年 4 月）発売予定であるが、抗コリン薬の副作用対策として、口内乾燥に対しては唾液腺マッサージ、保湿剤（スプレー状またはジェル状の保湿剤、ヒアルロン酸などのムコ多糖を含有している保湿剤）、含嗽剤、人工唾液など、便秘に対しては生活習慣の改善・食事療法、適度な運動、過度とならない水分摂取、食物繊維摂取などが推奨されている。推奨レベルは必ずしも高くないが、参考にしていきたい。

過活動膀胱診療ガイドラインでは、女性における過活動膀胱の発生メカニズムとして、閉経に伴うホルモン環境の変化と骨盤底の脆弱化を挙げられている。後者は骨盤底の脆弱化に伴う尿道の変形や刺激が、尿道知覚を介して過活動膀胱を発生させていると考えられる。また、過活動膀胱に伴い女性の性機能障害が発生するとされており、抗コリン薬による治療が性機能障害を改善させる可能性も示唆されている⁶⁾。これまで女性性機能障害についてはほとんど研究がされていないので、積極的に取り組むべき領域と思われる。

参考文献

- 1) 泌尿器外科 27: 1183, 2014
- 2) Prog Med 31: 1609, 2011
- 3) Arch Intern Med 161: 1989, 2001
- 4) 治療 92: 145, 2010
- 5) 過活動膀胱診療ガイドライン第 2 版 RichHill Medical 2015
- 6) Int J Urogynecol 19: 1551, 2008

講演 3

今後の医療情勢について

国際医療福祉大学大学院教授
東京女子医科大学客員教授
元日本経済新聞論説委員
渡辺俊介先生

I. 2014年改革の目的 「病院完結型医療」から 「地域完結型医療」への 転換。

つまり「地域包括医療・ケア」の実現。
社会保障制度改革国民会議報告書（2013年8月6日）に基づくもの。

社会保障改革国民会議は、2012年8月、当時の民主党・野田内閣において「消費税を引き上げ、社会保障を充実させる」ことで自民党、公明党も合意し、（三党合意）、その具体策を作成するために設けられた。それに基づいて、2014年6月18日に「一括法」（医療法改革など19の法律改正）が成立。

[その背景にある考え方]

「医療・介護ニーズと提供体制のミスマッチが続いたまま医療費や介護費の増大を招けば、国民負担増抑制の観点から必要な医療・介護まで保険給付の対象から外すなどの対応が一律的に行われたり、緊急性の高い救急医療を緊急性の低い医療が押しのかたりといった事態を招きかねない」「国民負担の増大の抑制と必要な医療・介護という要請を両立させていくためには、ニーズと提供体制のマッチングの改革を待たないで断行していかなければならない」

その背景には、「医療・介護費用の一律抑制」ではなく「必要な医療・介護費用は確保する」という厚生労働省の考え方がある。

2001～2006年の小泉純一郎内閣では、経済財政諮問会議を中心に①医療費が経済成長率

の伸びを上回ったら、その分だけ診療報酬単価（1点＝10円）を引き下げていく②風邪や腹痛など「軽い病気」は保険給付から外すなどの案を打ち出した。

厚生労働省は反発。予防の促進や高齢者医療の見直し、ジェネリック医薬品の推進、また医療提供体制の改革等により医療費の抑制を図るとした。

2004～2005年に対立論争があったが、2005年11月に厚労省がそれに基づく改革案を提示して一応決着がついた。

II. 具体的な改革の内容

都道府県の医療計画＝地域医療構想（ビジョン）の作成

「都道府県は入院・外来別や疾患別の患者数の2025年における推計値、また『構想区域』（2次医療圏に近い考え方）ごとの医療機能、必要量などを定めた地域医療構想を策定しなければならない」

2015～2016年度にかけて策定。

[目的] 病床の機能分化・連携の推進＝医療提供と受給体制の再編成

病院、有床診療所、かかりつけ医の役割（機能）を明確に。

それぞれが連携。

つまり都道府県がそれぞれの地域の中で「地域包括ケア体制」を実現するのが目的。そのための第一歩が「病床機能報告制度」

① 病床機能報告制度

2014.10.1から報告受付。

全国の病院、有床診療所はその病床の機能を都道府県知事に報告しなければならない。

報告すべき機能は「高度急性期」「急性期」「回復期（リハビリ）」「慢性期」の4つ。（表1）

② 報告の結果

2014.7.1時点の機能（医療機関の報告）

高度急性期 17万6193床 16.4%

急性期 53万3078床 47.0%

回復期 10万2493床 9.1%
慢性期 31万7856床 27.5%
計 112万9620床

6年が経過した時点における予定
高度急性期 18万4251床 17.1%
急性期 50万6996床 44.5%
回復期 13万2297床 11.8%
慢性期 30万9661床 26.6%
計 113万3205床

国が考える2025年の病床数
高度急性期 18万床 17.5%
急性期 35万床 34.0%
回復期 26万床 25.2%
慢性期 24万床 23.3%
計 103万床

③ 地域医療構想を策定するために、医療機関、保険者などが参加する協議の場、「地域医療構想調整会議」を設置。

④ 基金の設立
診療報酬ではなく、消費税を財源に「地域医療・介護創生基金」を作り、都道府県がそこからの補助金を活用して機能分化、在宅推進等の支援を行う。2014年度は904億円。2015年度予算案でも904億円。

⑤ 在宅医療の推進
都道府県の医療構想において、在宅医療の目標や医療連携体制に関する事項の記載を義務付ける。

Ⅲ. 地域包括ケアのための日本医師会などの動き

(1) 日本医師会は「かかりつけ医機能の強化」を打ち出す。

日医・4病協の合同提案による「かかりつけ医機能」宣言 (2013.8.8)

① 日常の診察では患者の生活背景を把握し、適切な診療・保健指導を行い、自己の専門性を超えて診察や指導を行えない場合には

地域の医師、医療機関等と協力して解決策を提供する。

② 診療時間外も患者に最善の医療が継続されるよう、地域医師・医療機関等と必要な情報を共有し、互いに協力して休日や夜間も患者に対応できる体制を構築する。

③ 日常診療のほかに、地域住民との信頼関係を構築し、健康相談や健診・がん検診、母子保健、学校保健、産業保健、地域保健などの地域における医療を取り巻く社会活動、行政活動に積極的に参加するとともに、保健・介護・福祉関係者との連携を行う。また、地域の高齢者が少しでも長く地域で生活できるよう在宅医療を推進する。

④ 患者や家族に対し、医療に関する適切かつ分かりやすい情報の提供を行う。

(2) 4病協の「地域医療・介護支援病院」提言 (2013.11.18)

急性期病床からの転院を受け入れ、在宅復帰を支援する。

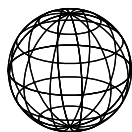
在宅医・介護施設と連携して在宅患者・施設入所者等の急変を24時間体制で受け入れ、在宅療養を支援する。

地域における医療・介護連携においてネットワーク構築、情報共有、多職種連携支援など、責任ある役割を果たす。地域に密着した概ね200床未満の病院。

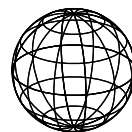
Ⅳ. 今後の医療情勢はどうなるのか

規制改革と国民皆保険の維持
予防活動の推進





東京都各科医会協議会報告



副会長 長谷川 潤

1. 平成 26 年度忘年会が 2014 年 12 月 1 日に原宿の南国酒家にて開催されました。協議事項はありませんでした。
2. 平成 26 年度第 3 回幹事会が 2015 年 2 月 2 日に興和（株）東京支店にて開催されました。「他科の先生方に知らせた各々のトピックス」では泌尿器科から「PSA と前立腺がん検診」「陰茎の緊急症」「陰嚢の緊急症」「保険診療の注意点」の 4 点について述べました。皮膚科からは「ステロイドと抗菌外用薬合剤の問題点」「分子標的薬による皮膚障害」についての発表がありました。
3. 平成 27 年度第 1 回幹事会が 2015 年 4 月 6 日に興和（株）東京支店にて開催されました。「他科の先生方に知らせた各々のトピックス」では産婦人科から「妊娠と薬、被曝と予防接種」、整形外科から「ロコモティブシンドローム」についての発表がありました。以前からの懸案であった当会の財政立て直しについて各々から意見表示があり、泌尿器科からは東京泌尿器科医会の役員会での結論として会費の値上げに賛成するとの意見を述べました。ちなみに現在の年会費は 6 万円で

あり、値上げ後は年 8 万円になる見込みです。

慶應義塾大学病院臨床遺伝学センター、小崎健次郎教授より「UDP の意義と実際、国際動向」と題した講演があり、UDP (Undiagnosed Disease Program) すなわち従来の医学的検査では診断のつかない「診断不明」患者に対して次世代シーケンサーを用いた全ゲノム解析技術を用いて遺伝子診断を進めるプロジェクトに患者さんを紹介して欲しいとの要請がありました。

今年度より当会会長は（公社）東京都眼科医会濱崎陸会長から東京都耳鼻咽喉科医会坂口文雄会長に引き継がれました。

投稿のお願い

東京泌尿器科医会ニュース編集部では医会ニュースを充実させるため会員の皆様の投稿やご要望を歓迎いたします。今後の医会の方向や泌尿器科における保険診療上の問題点、疑問等いろいろな話題提供でも結構です（匿名掲載の場合はその旨ご連絡下さい）。

投稿される方は下記へお送り下さい。

〒140-0004 品川区南品川3-6-51
小川クリニック 小川 肇
TEL. (03) 5460-1188 FAX (03) 5460-1195



選択的 α_1 遮断薬

前立腺肥大症に伴う排尿障害改善薬 薬価基準収載

劇薬/処方せん医薬品^(注) 注) 注意—医師等の処方せんにより使用すること

ユリーフ錠 2mg・4mg

URIEF[®] Tab. シロドシン錠

■効能・効果、用法・用量、禁忌を含む使用上の注意等の詳細につきましては、添付文書をご参照ください。

製造販売元

キッセイ薬品工業株式会社

松本市芳野19番48号

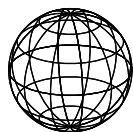
http://www.kissei.co.jp

〈資料請求先〉くすり相談センター

東京都中央区日本橋室町1丁目8番9号

TEL. 03-3279-2304 予約代り 0120-007-622

UR2310GD 2014年1月作成



日本臨床泌尿器科医会だより



総務 小川 肇

平成 27 年 4 月 19 日（日）第 103 回日本泌尿器科学会総会中の金沢市ホテル日航金沢にて全国泌尿器科保険審査委員懇談会が開催されました。全国の審査基準の統一化のために総会中に開催されるのも恒例になりました。地元石川県の審査委員の先生方が司会を務められ、日泌保健委員会委員長斎藤忠則先生をコメンテーターとして、事前に提出された様々な問題点について意見交換が行われました。

同会場では午後になって第 18 回日本臨床泌尿器科医会総会と講演会が開催され、平成 26 年度事業報告、会計報告、27 年度事業計画、

予算案などが異議なく承認されました。続いて日本医師会 常任理事 松本純一先生（三重県、泌尿器科）から「次回診療報酬について」の講演が行われました。

今年の臨床検討会は平成 27 年 10 月 11（日）の一日開催となり、ANA クラウンプラザホテルグランコート名古屋で開催されます。一般演題登録締切は 7 月 15 日。演題登録、出席申し込みなどは日本臨床泌尿器科医会 HP をご覧ください。

編集後記

東京泌尿器科医会は 20 周年記念講演会を盛会に終了しました。20 年前に町田豊平先生が泌尿器科医の社会的地位の向上と泌尿器科学の発展をお考えになり当会を発足いたしました。その意思をついで故長久保一郎先生が第 2 代会長となり当会を運営しているときに無念にも病に倒れられ、小川秀彌先生が副会長から会長代理となりその後第 3 代会長として吉田英機先生が現医会をけん引しております。理事も新しい医師が加わり活性化した理事会で運営されております。本会はトピックスな泌尿器科の話題提供と吉田会長、斎藤理事をはじめ社保国保の保険審査委員による保険診療の最新の話や QA の講演会を春と秋に開催しております。学術講演会にも多くの会員のご参加をお願いし、新入会員増員のお声掛けを頂けると幸いです。

次回 9 月の学術講演会の日には平成 26 年度の総会が行われ、今回は役員改選となります。

新執行部、理事になり、これからも魅力ある会に育てて 50 回……100 回と歴史を刻んでまいりたいと思います。皆様のご協力とご支援、ご意見をいただきたく存じます。

（細部高英）

賛助会員

旭化成ファーマ株式会社／あすか製薬株式会社／アステラス製薬株式会社／アストラゼネカ株式会社／エーザイ株式会社／大塚製薬株式会社／小野薬品工業株式会社／科研製薬株式会社／キッセイ薬品工業株式会社／杏林製薬株式会社／グラクソ・スミスクライン株式会社／シェリング・プラウ株式会社／塩野義製薬株式会社／大鵬薬品工業株式会社／武田薬品工業株式会社／第一三共株式会社／中外製薬株式会社／株式会社ツムラ／帝人ファーマ株式会社／日本新薬株式会社／日本化薬株式会社／ファイザー株式会社／扶桑薬品工業株式会社

（50音順）